事務事業評価シート　令和　1　年度事後評価・決算

令和　3　年　2　月　22　日時点

所管課	都市整備課	担当班	建築住宅班

事務事業名	コード	32300	空き家等対策推進事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	8	4	1

施策体系					
基本施策	21	良好な生活環境の形成	根拠法令	旭市空家等の適切な管理に関する条例ほか	
施策の展開	39	住み良い住環境の確保	戦略事業	193	空き家対策事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別：☑ 主な事業　☐ 国土強靭化地域計画　☐ 新市建設計画　☐ 定住自立圏構想　☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間
☑ 単年度繰返
☑ 平成 27 年度～
☐ 開始年度不詳
☐ 期間限定複数年度
平成 ＿ 年度～
令和 ＿ 年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
空き家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている実態を受け、これらの解消と発生抑制・活用につながる施策を実施する。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状
平成27年度に空家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、これに伴い平成29年度より旭市空家等の適切な管理に関する条例が施行となった。

④事務事業に関する課題・環境の変化
今後必要となる対策計画や協議会発足、具体的な施策を実施するための根拠となりうる市内の空き家の実態を把握する必要がある。

⑤事務事業に対する住民からの意見等
周辺に迷惑となっている空き家について何とかしてもらいたい。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)　単位:千円

1.委託料		旭市空家等実態調査業務委託
2.使用料及び借上料	145	空家等管理システムの導入(R2.3月)

② 特定財源の内訳(1年度の決算)　単位:千円

1.国庫支出金		社会資本整備総合交付金(住宅局関係)
2.都道府県支出金		千葉県空き家等対策推進事業補助金
3.地方債		
4.その他		

前年度増減理由	H30年度に空家実態調査を実施、これを基とした管理システムを導入したため

		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
事業費 費目内訳	1. 委託料	千円			8,964		
	2. 使用料及び借上料	千円				145	871
		千円					
		千円					
		千円					
	事業費計 (A)	千円			8,964	145	871
財源	1. 国庫支出金	千円			4,482		
	2. 都道府県支出金	千円			2,241		
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円			2,241	145	871

従事職員数	常時	1	人	最大	1	人	×	200	日	=	延べ	200	人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段
① 主な活動
1年度実績(1年度に行った主な活動)
・空家等に対する苦情対応(所有者への通知等)
・空家等管理システムの導入

	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
ア	空き家数	件	786	940	1,129	1,243	1,350
イ	住宅総数	件	25,260	25,260	25,260	25,260	25,260

目的
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)
対象：空き家
意図：苦情の解消
対象：
意図：

	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
ア	空き家数	件	786	940	1,129	1,243	1,350
イ	苦情件数	件	38	99	96	114	100

(4)事務事業優先度評価の結果

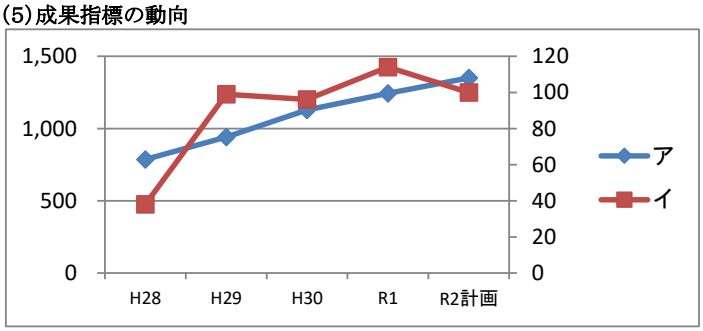
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通			⑦
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③			
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨	(7)		

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☐ 概ね順調　☑ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)
H30年度の実態調査結果をもとに空家等管理システムを導入するも台風15号等による他業務の影響により、協議会未開催・対策計画の策定にも遅れが出てしまい、抑止力のある政策を実現できていないため。

② 成果の状況

	成果指標のタイプ				
成果指標ア	↘	数値減＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☑ 低下
成果指標イ	↘	数値減＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☑ 低下

【コメント】(低下の場合、その理由)
空家数は年々増加しており、またこれまで家屋の倒壊等の相談が中心であったが、専門部局に分散していた害虫、樹木、廃棄物等の相談についても、空家管理の相談窓口として集約されたことが周知され、苦情等の相談が大幅に増加しているため。

成果動向	比較	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2計画
	ア	0	154	189	114	107
	イ	6	61	△3	18	△14

③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)

時期	内容
令和2年3月31日まで	対策計画案、協議会案の作成

今後の方向性：☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し　☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他(　　)

令和2年3月31日まで	空家等対策協議会の設置、空家等対策計画の策定